研究課題番号	4RF-1701
研究課題名	海洋酸性化が生態系サービスに及ぼす影響-未来の海：CO2シープを利用した解析-
研究実施期間	平成 29 年度～令和元年度
累計予算額	18,455 千円
研究機関名	筑波大学
研究代表者名	和田 茂樹

1. 評価者の指摘及び提言概要

海域中の CO₂ シープというユニークな場において、フィールド調査に基づく現象把握から生態系サービスの算出までをカバーし、査読論文も多いなどの点で、若手研究にふさわしく意欲的研究であり評価されるべきプロジェクトと考えられる。ただし、今回の結果（海洋生物の分布・種組成など）が CO₂ シープのみの要因によるのかの検証が難しいため、一般化した地球環境的考察（CO₂ 増加・海洋酸性化の影響）をするのには慎重であるべきと思われる。また、漁業者への聞き取りや観光資源としての価値に関する分析まで行っている点はよいが、また、生態系サービスの要素は他にも重要なものがあると思われるので、今後社会科学の専門家との協働が推奨される。

2. 評点

総合評点：A